

このたびは、弊社製品をご採用いただきありがとうございます。取付作業前に本書をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。取り付け後は、本書をいつでも取り出せるよう保管してください。

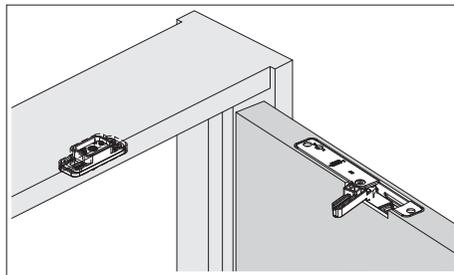
動画をご覧ください。

治具を使う場合

治具を使わない場合

本製品について

- ドアを閉じると本体が外側から見えない、埋込タイプの屋内開き戸用ドアダンパーです。
- 弊社の3次元調節付隠し丁番 HES3D型を吊元丁番にご使用いただくとドアを閉めた際に、金物がすべて見えなくなるためドアのデザインを損ないません。
- ドア全閉間隙(約10°以下)からのダンパー機能とドア引込み機能により、「バタン」という衝撃をやわらげ、ゆっくりと確実に閉まります。

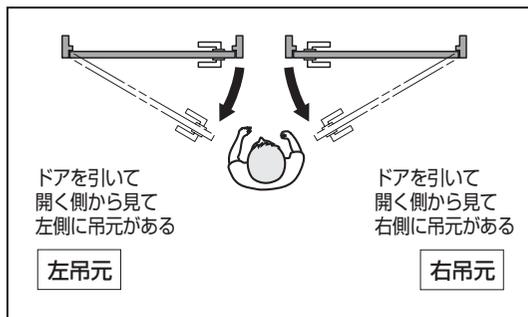


仕様

ドア幅	900mm以下
ドア厚	33mm以上
ドア質量	15~40kg

- 使用推奨温度範囲は0℃~40℃です。

吊元仕様	品番
右吊元用	LDD-V-R
左吊元用	LDD-V-L



正しく、安全に取り付けいただくために

- ⊘ 本記号はしてはいけない行為(禁止行為)であることを告げるものです。
- ❗ 本記号は、必ず従っていただく内容(強制、指示)であることを告げるものです。

注意 軽傷を負うことや、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。

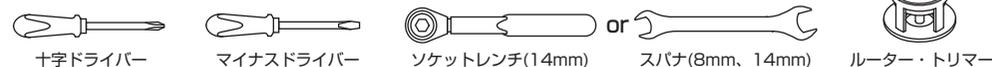
- ⊘ 本製品は屋内用です。直接雨や雪がかかる場所でのご使用はおやめください。
- ⊘ 強風下ではダンパー効果が低下しますので、強風下でのご使用はおやめください。
- ⊘ ドアを必要以上に強く閉めるなど、無理なドアの開閉はおやめください。故障の原因となります。
- ❗ 指定寸法、仕様を必ず守ってください。枠、ドアの反り、ねじれは、故障や本来の動きに影響が出るおそれがあります。
- ❗ ねじの緩み等の異常がないか、定期的に点検し、増し締めしてください(お使い始めから1ヶ月後と6ヶ月後、その後は1年ごとが目安となります。)

部品一覧

【下記ドアダンパー LDD-V-R及び、調節治具 R用は右吊元用を示します。ドアダンパー LDD-V-L及び、調節治具 L用は左吊元用となります。】

No.	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
品名	ドアダンパー	受座	受座カバー	バインドタッピンねじ (呼び3.5×20)	バインドタッピンねじ (呼び4×45)	掘込加工テンプレート (ドア側、枠側)	取扱説明書 (本書)
部品							
個数	1個	1個	1個	2本	2本	1枚	1部

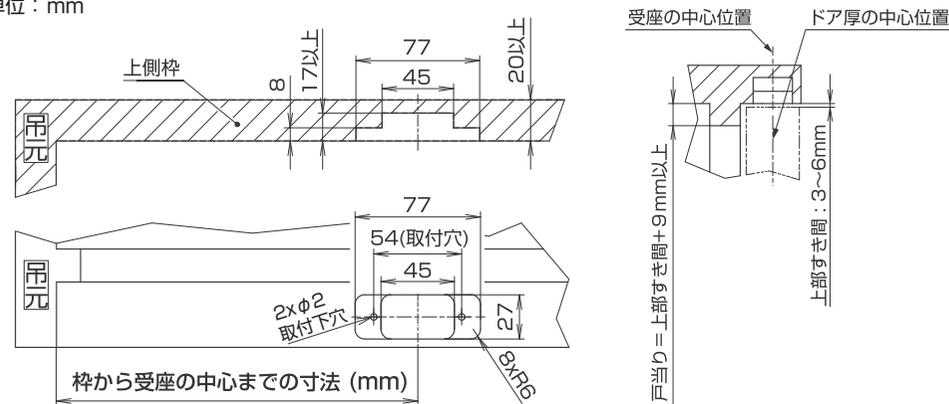
No.	①	②
品名	加工治具	調節治具 L用/R用
部品		
	※ ルーターを使った掘込作業が簡単に行えます。	※ 製品の調節作業が簡単に行えます。



枠側の加工

【以下の加工及び加工手順は、右吊元用を示し、左吊元用は対称となります。】

単位：mm



吊元丁番	枠から受座の中心までの寸法 (mm)				
	1	2	3	4	5
HES3D-120	220	221	222	223	224
HES3D-160	221	222	223	224	225
HES3D-190	221	222	223	224	225
HES3D-V135	218	219	220	221	222
平丁番	224	225	226	227	228

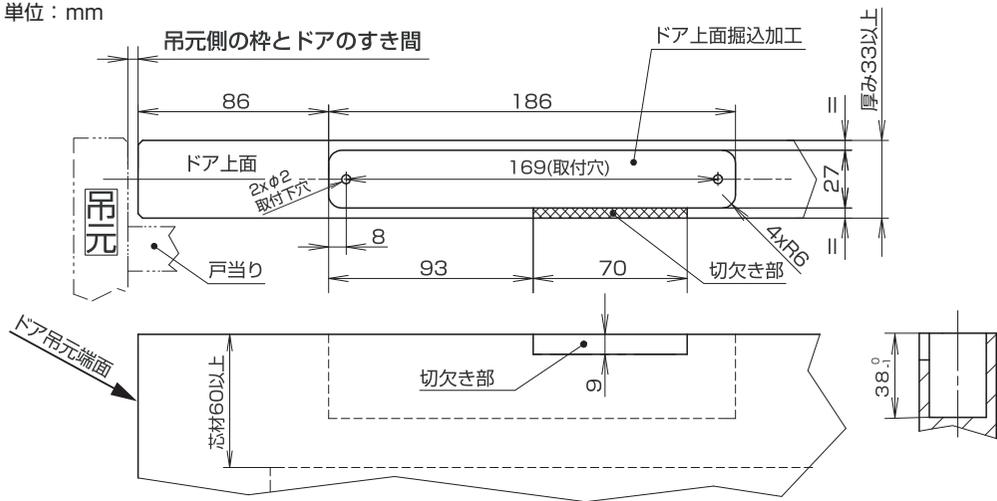
※吊元側の枠とドアのすき間が左表の範囲以外の場合は、下表から計算してください。

吊元丁番	枠から受座の中心までの寸法 (mm)
HES3D-120	219+吊元側の枠とドアのすき間
HES3D-160	220+吊元側の枠とドアのすき間
HES3D-190	220+吊元側の枠とドアのすき間
HES3D-V135	217+吊元側の枠とドアのすき間
平丁番	223+吊元側の枠とドアのすき間

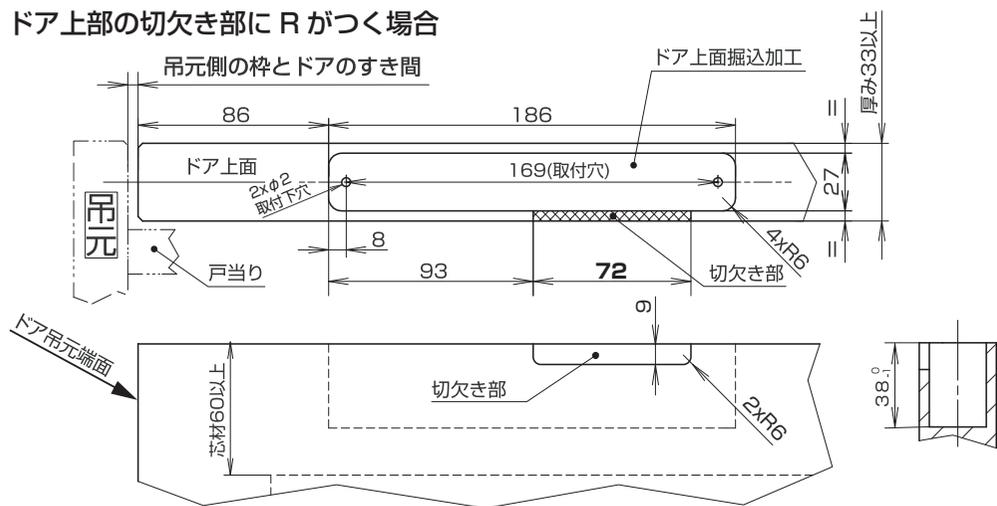
枠側の加工

【以下の加工及び加工手順は、右吊元用を示し、左吊元用は対称となります。】

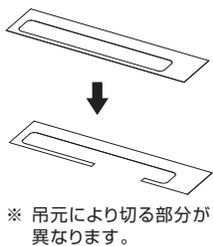
単位：mm



ドア上部の切欠き部に R がつく場合

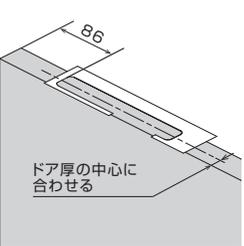


1 テンプレートの加工



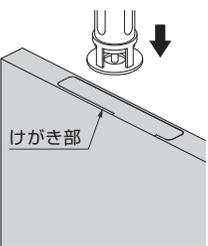
※ 吊元により切る部分が異なります。

2 指定位置にテンプレートを貼り、加工部をけがく



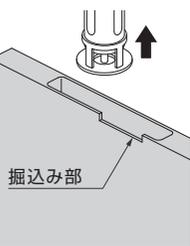
ドア厚の中心に合わせる

3 けがき部を加工する



けがき部

4 掘込み加工終了

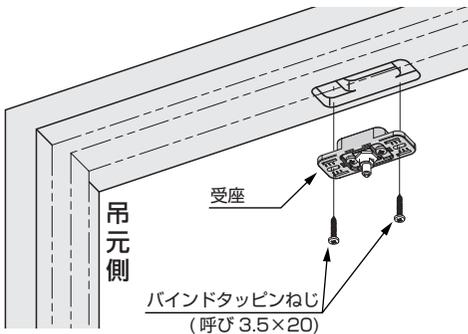


掘込み部

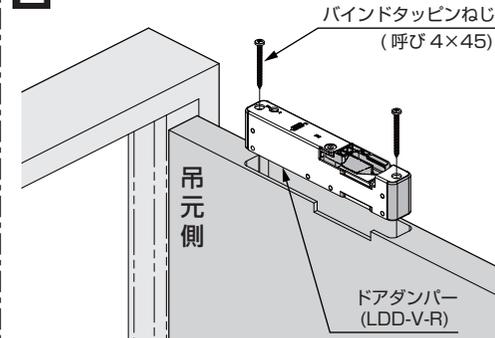
取付手順

【本製品の取り付けは、丁番とケースロックの建付け調節後に行ってください。】

1 受座の取り付け



2 ドアダンパーの取り付け



⚠ 注意

受座を調節する前にドアの開閉は絶対に行わないでください。ダンパーが正常に作動せず、ドアやドア枠、本製品が破損する恐れがあります。

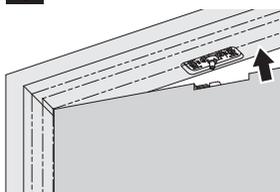
調節手順 (調節治具なし)

【調節治具(オプション)を使用する場合は、調節の順番が異なります(P.6-7)】

■ 調節治具を使わない場合 受座軸の上下調節 → 受座軸の前後調節 → 受座軸の左右調節

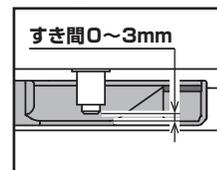
受座軸の上下調節 調節範囲：±2mm

1 ドアを閉めきる前まで止める



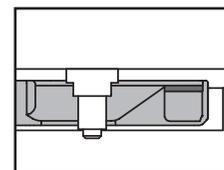
2 受座軸の状態把握

○ 調節不要

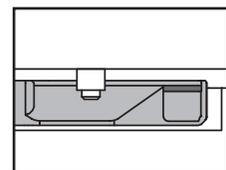


すき間0~3mm

× 調節必要

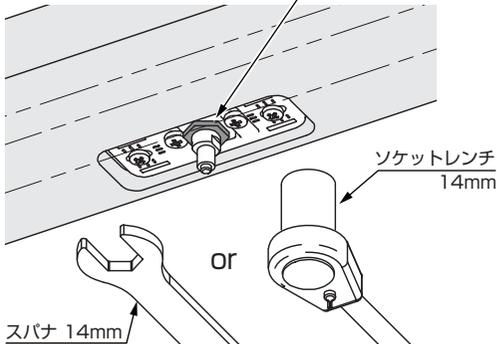


× 調節必要

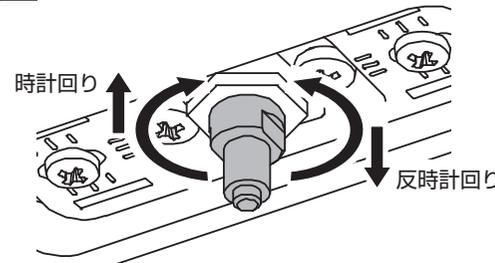


調節方法 ← 調節が必要な場合

3 固定ナットをゆるめる



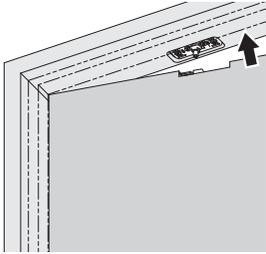
4 受座軸の調節



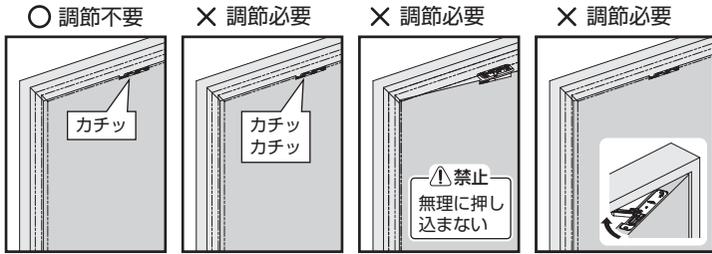
2の「○ 調節不要」の位置に調節する

受座軸の前後調節 調節範囲：±2mm

1 ドアを開める

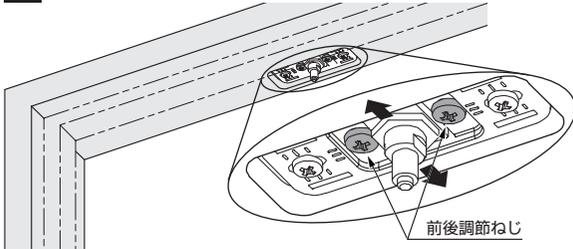


2 受座軸の状態把握

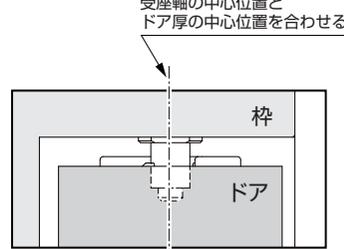


調節が必要な場合
調節方法 ←

3 前後調節ねじをゆるめる

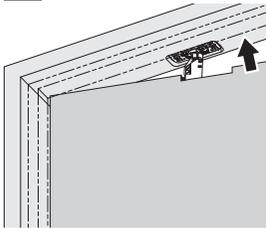


4 受座軸の調節

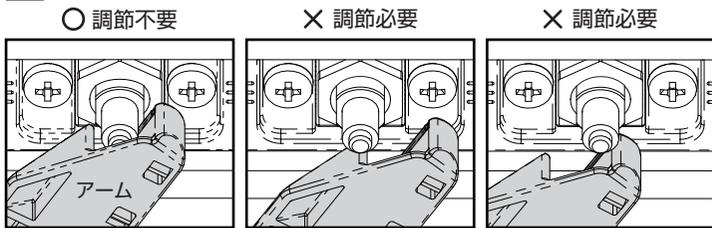


受座軸の左右調節 調節範囲：±3mm

1 ドアを開める

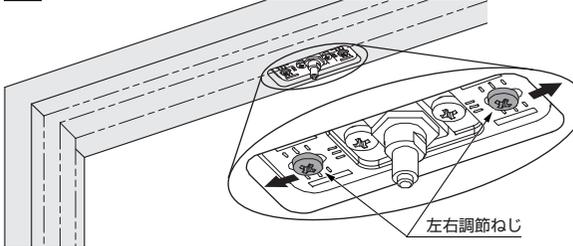


2 受座軸の状態把握

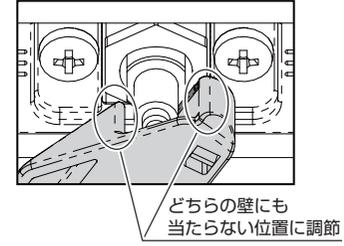


調節が必要な場合
調節方法 ←

3 左右調節ねじをゆるめる



4 受座軸の調節

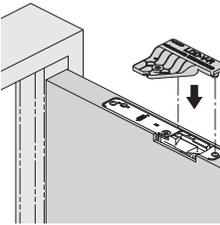


調節手順 (調節治具あり) 【調節治具(オプション)を使用しない場合は、調節の順番が異なります(P.4-5)】

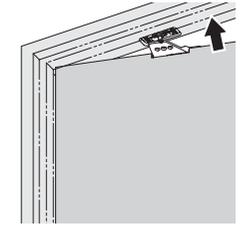
調節治具を使う場合 受座軸の左右調節 → 受座軸の上下調節 → 受座軸の前後調節

受座軸の左右調節 調節範囲：±2mm

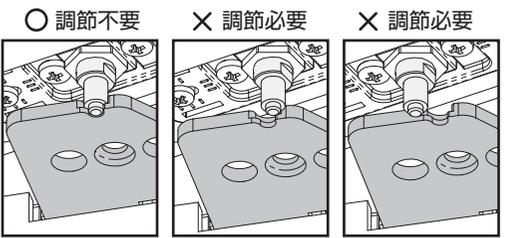
1 調節治具をドアダンパーへ取り付け



2 受座軸と調節治具が当たる位置までドアを閉じる

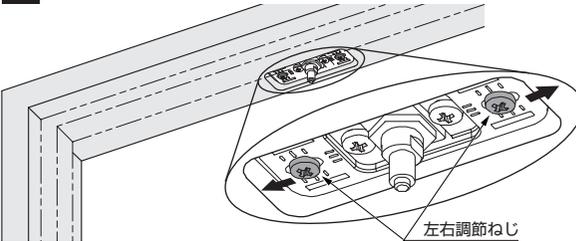


3 受座軸の状況把握

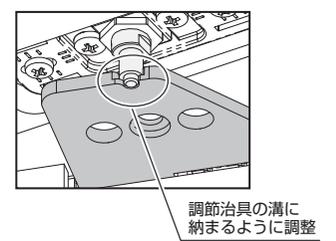


調節が必要な場合
調節方法 ←

3 左右調節ねじをゆるめる

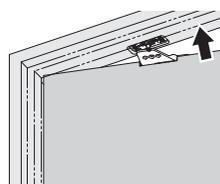


4 受座軸の調節

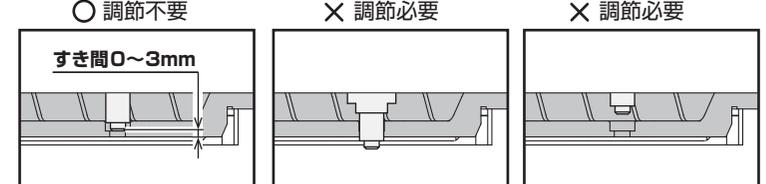


受座軸の上下調節 調節範囲：±2mm

1 受座軸と調節治具が当たる位置までドアを閉じる

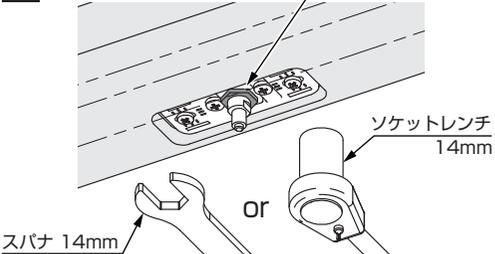


2 受座軸の状況把握

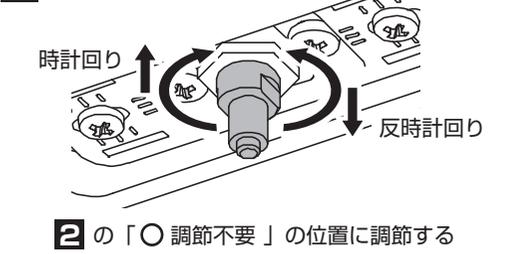


調節が必要な場合
調節方法 ←

3 固定ナットをゆるめる



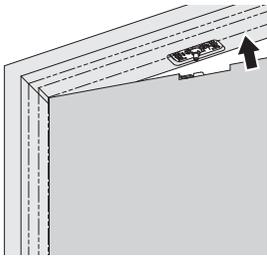
4 受座軸の調節



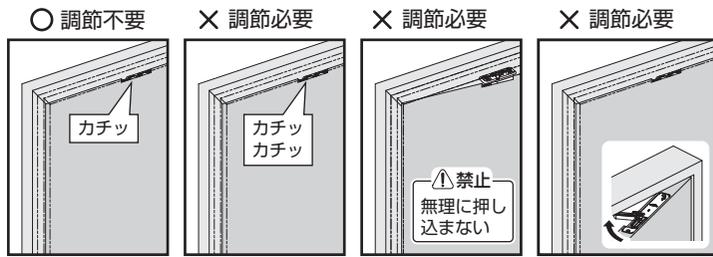
2の「調節不要」の位置に調節する

受座軸の前後調節 調節範囲：±2mm

1 ドアを開める

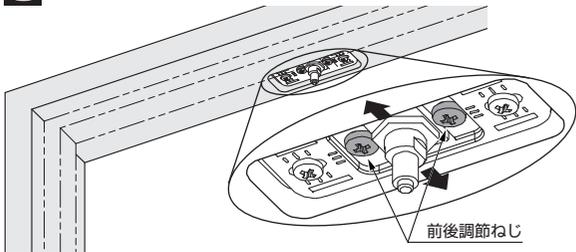


2 受座軸の状態把握

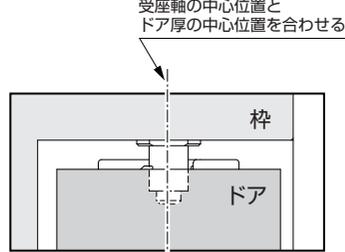


調節方法 調節が必要な場合

3 前後調節ねじをゆるめる



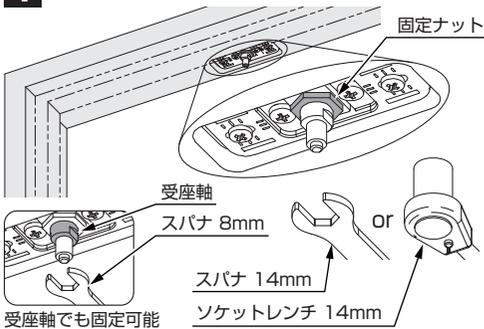
4 受座軸の調節



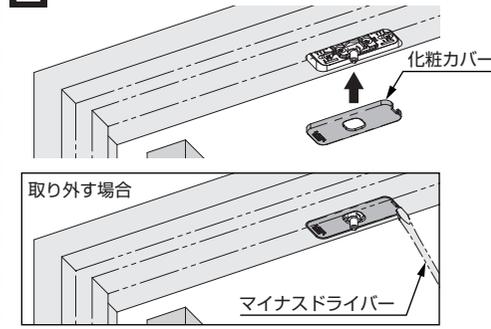
調節後の取付手順

【調節治具(オプション)を使わない受座軸調節(P.4-5)または、調節治具をつかっている受座軸調節(P.6-7)が終えてから下記手順にて取り付けを行ってください。】

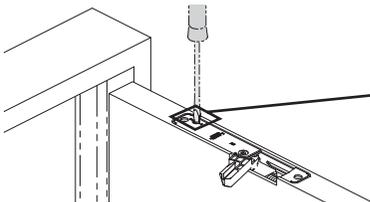
1 受座軸の固定ナットの増し締め



2 化粧カバーの取り付け



ダンパー力の調節



注意

調節はL(弱)かH(強)のどちらかの位置にし、中間で止めないでください。

こんなときは (トラブルシューティング)

症状	原因	対処方法
異音が発生する	取付位置が間違っている	取付位置を確認し、正しい位置に修正してください。詳細はP.2-3を参照してください。
	掘込寸法が間違っている	掘込寸法を確認し、正しい寸法に修正してください。詳細はP.2-3を参照してください。
	調節が適正に行われていない	受座の上下、左右、前後、ダンパー力の調節を参考に再度調節してください。詳細はP.4-5,7または、P.6-7を参照し、調節してください。
	受座の固定ねじ、受座軸の固定ナット、受座軸がゆるんでいる	調節後、固定ナットを確実に締めてください。詳細はP.7を参照し、本締めしてください。
ドア閉時に「カチッ」「カチッ」と2回鳴る	受座軸の前後調節が適正ではない	受座軸の前後調節が必要です。調整範囲:±2mm 詳細はP.5または、P.7を参照し、調節してください。
ドアダンパーのアームが溝に入らない	受座軸がアームの下に当たっている	受座軸の上下調節が必要です。調整範囲:±2mm 詳細はP.4または、P.6を参照し、調節してください。
	受座軸がアームの左右どちらかの壁に当たっている	受座軸の左右調節が必要です。調整範囲:±3mm 詳細はP.5または、P.6を参照し、調節してください。
ドアを開く際、ドアダンパーのアームが自動的に引き出されない	受座軸と、ドア厚の中心がずれている	受座軸の前後調節が必要です。調整範囲:±2mm 詳細はP.5または、P.7を参照し、調節してください。
	受座軸の前後調節が適正ではない	
ドアが最後まで閉じない (引き込まれない)	受座軸と、ドア厚の中心がずれている	正しいドアサイズにしてください。
	ドアのサイズが適正ではない	

本製品に関するご質問・ご相談は、お買い求めいただいた販売店、または下記の窓口にお問い合わせください。

電話番号 03(3864)1122

受付時間 月~金 9:00~17:30 (年末・年始・夏季休暇等は除く)

FAX 03(3863)6875

E-mail: support@sugatsune.co.jp

東京都千代田区岩本町2-5-10 ☎101-0032

SUGATSUNE スガツネ工業 LAMP 印の機能&デザイン金物メーカー

ISO 9001 (JSAQ384)・ISO 14001 (JSAE597) 審査登録
 〒150-0021 東京都目黒区 千代田区 岩本町 2-5-10
<http://www.sugatsune.co.jp/>

2016.09 0721-3